

2023年12月20日

各 位

会 社 名 株式会社クエスト
代 表 者 名 代表取締役 社長執行役員 岡 明男
(コード番号:2332 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役 上席執行役員 小泉 裕
(電話番号:050-3785-3965)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について(現状分析)

当社は、資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、経営幹部による議論を重ねており、本日開催の取締役会において、当社の現状分析を行いましたので下記の通りお知らせいたします。

記

当社は、2020年度における経営体制の強化を契機に、2030年度の未来を見据えた中長期計画「Quest Vision2030」を策定し、持続的な成長と高収益体質の維持、そして企業価値向上に向けた「QCSV」(Quest Creating Shared Value:クエストの共通価値の創造)へのストーリーを作成するとともに、経営理念体系を再定義しました。事業の発展を通じて企業価値を安定的に成長させていくことを目標とし、中長期計画「Quest Vision2030」に基づいた3か年ごと中期計画を作成し、進捗と達成の状況レビューを行いながら事業を推進しています。

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応については、「現状分析」「計画策定・開示」「取組みの実行」の一連の対応を継続し、その進捗状況について検証し、毎年開示していくことを東京証券取引所より求められております。当社もこれらの対応を行い、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けた取り組みを加速してまいります。

本日公表の現状分析は、2023年3月期までの業績や経営指標を精査することにより、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた当社としての経営課題を明確にするために実施いたしました。

現状分析の詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について－現状分析－」を参照ください。

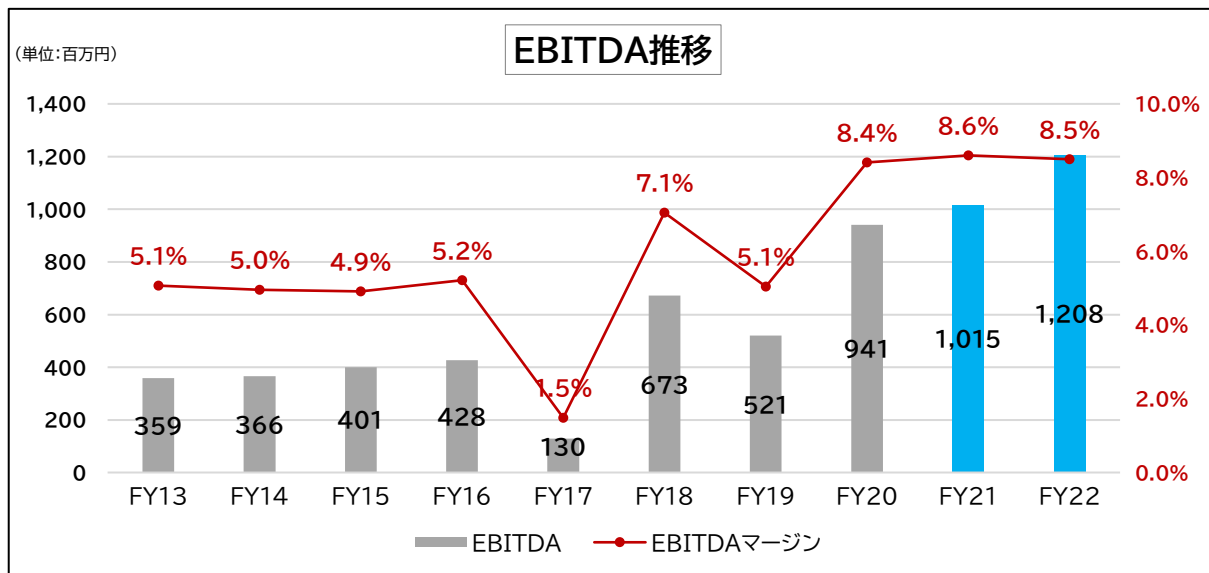
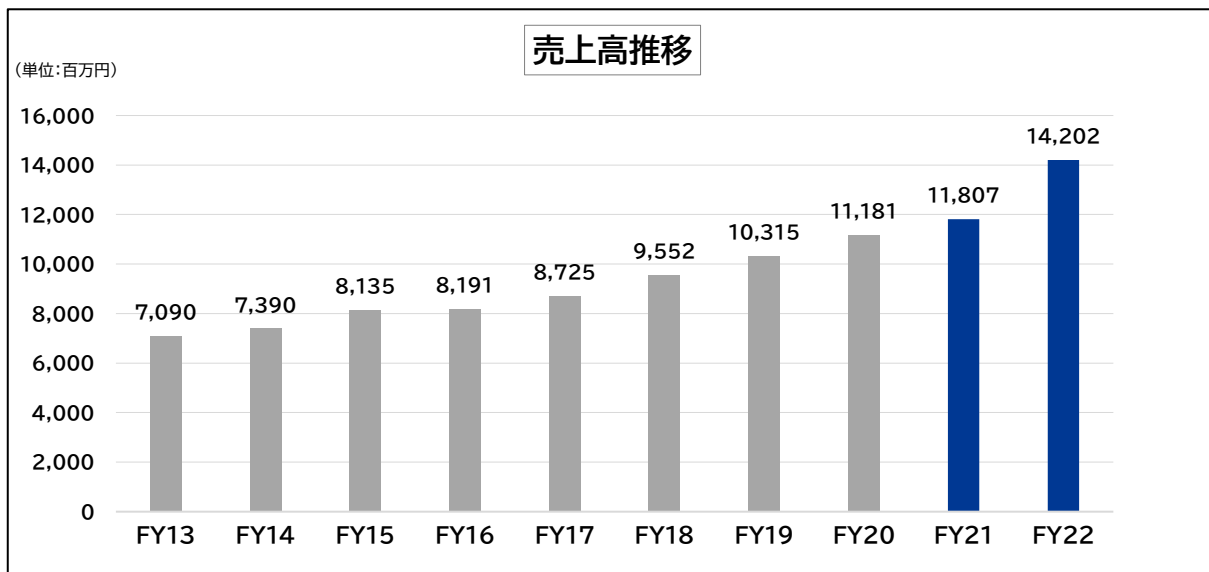
なお、現在「Quest Vision2030」における第2期・中期経営計画(2024-26年度)の策定及び「Quest Vision2030」のさらなる加速実現に向けたロードマップの見直しを行っております。上記の一連の対応のうち「計画策定・開示」については、第2期・中期経営計画の発表(2024年5月予定)と合わせて公表し、「取組みの実行」を進めてまいります。

以上

資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応について
－ 現状分析 －

2023年12月20日
株式会社クエスト

1.業績推移と過年度の取組み



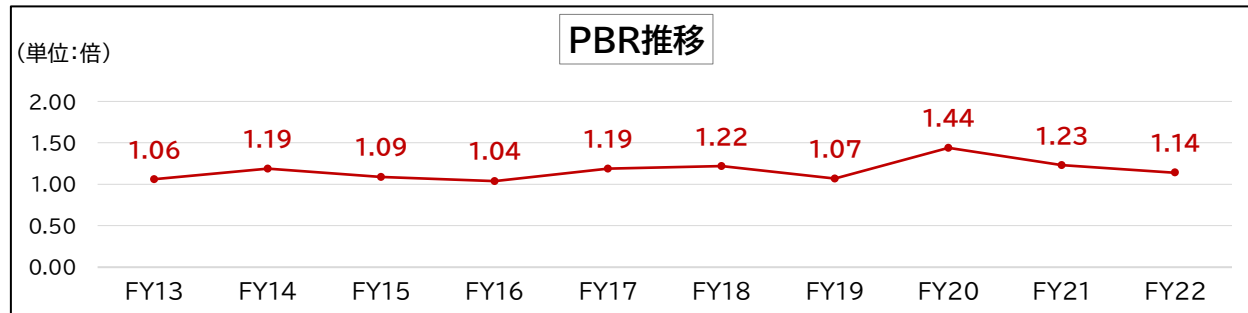
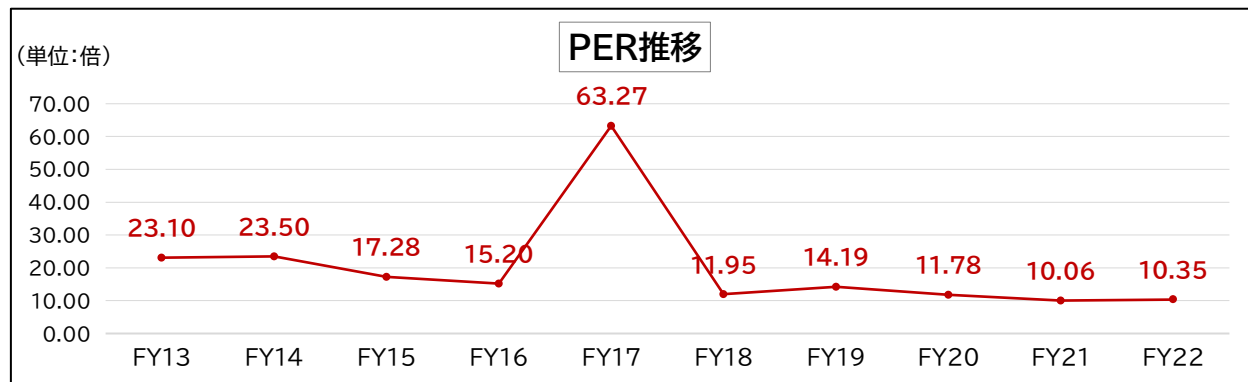
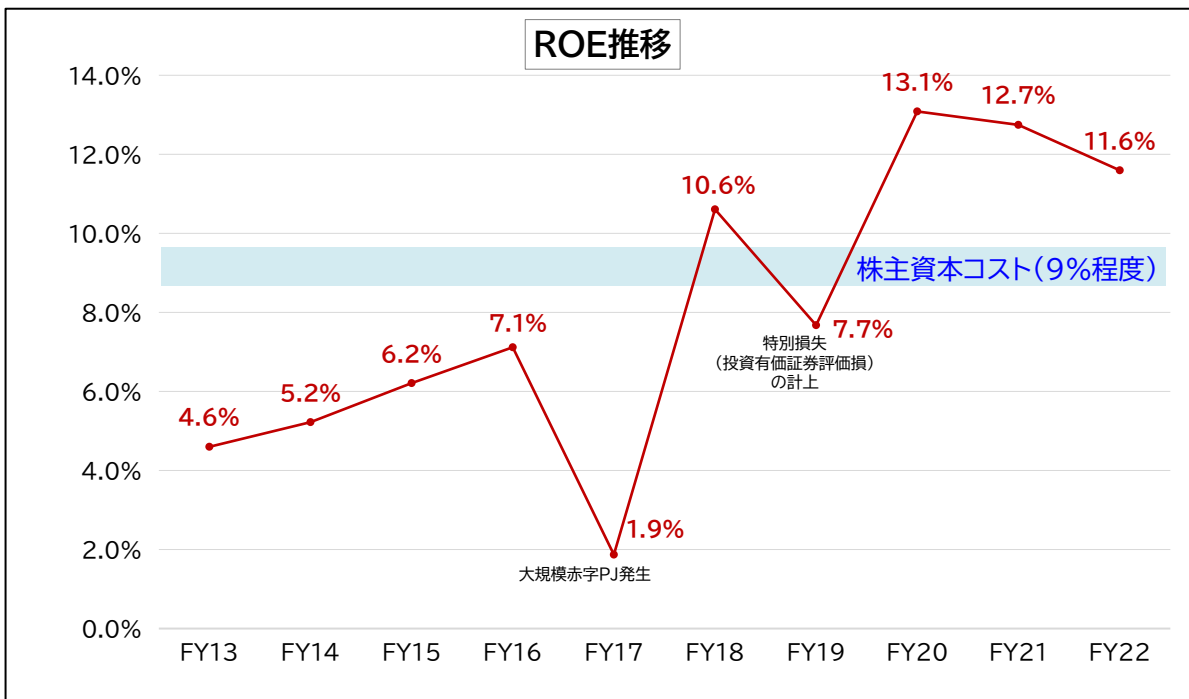
過年度の取組み

- ✓ 設立以来赤字決算なく、安定した成長を継続
- ✓ 無借金経営を継続
- ✓ 成長に向けた積極的な投資を継続

<Quest Vision2030>

- ✓ 持続的に成長・発展し続け、企業価値を向上させることを目的に、2020年に中長期計画策定プロジェクト「Quest Vision2030」を始動
- ✓ 経営理念体系の再定義、中長期ビジョンを策定し、2030年度の売上高200億円超、企業価値250億円超を掲げた
- ✓ 第1期・中期経営計画(2021-23年度)においては、2022年の(株)エヌ・ケイのグループ子会社化などの施策を着実に実施している

2.現状分析①：資本コストと収益性、PERとPBR



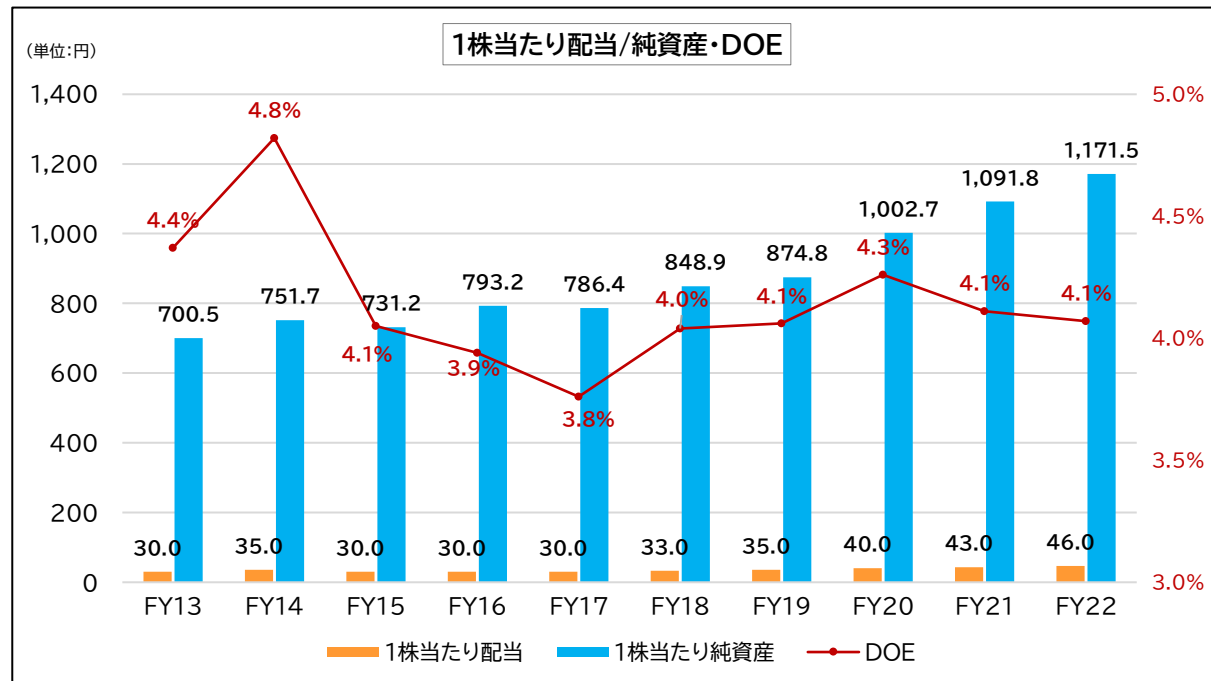
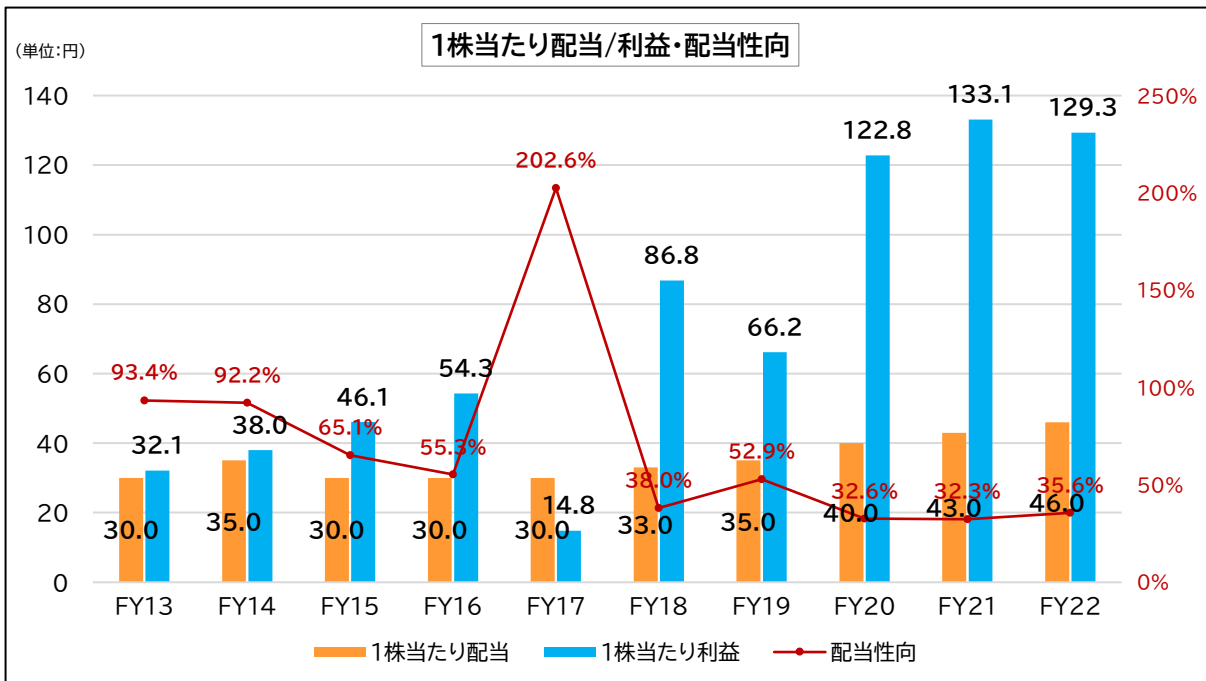
現状分析

- 中長期計画Quest Vision2030始動(2020年)以降、ROEは改善し10%超で推移
- 直近5年平均のROEは株主資本コストを上回っているが、業界では決して高いレベルではない
- PERは10倍強で推移しているが、業界では決して高いレベルではない

課題

- 収益性の更なる改善と株式市場の信頼を得られる成長を示すこと

2.現状分析②：利益と配当、純資産



現状分析

- 中長期計画Quest Vision2030始動(2020年)以降、一株当たり利益が大きく改善
- 赤字のない安定経営をもとにした安定配当の方針により、DOEは4%超を安定して確保
- DOEは4%台で推移しているが、収益性改善の結果、直近2年のROEが逡減

課題

- 安定した配当と増出利益の再配分とのバランス

3. 現状分析のまとめと今後の予定

1) 現状分析のまとめ

直近5年平均のROEは10%超で資本コストを上回っており、PERも10倍強で推移
過去10年は増収と安定した利益を計上しているが、PBRは1倍強で横ばい

課題

- 収益性の更なる改善と株式市場の信頼を得られる成長を示すこと
- 安定した配当と増出利益の再配分とのバランス

検討事項

- 持続的成長期待に応える中期経営計画の策定と資本コストの最適化
- 事業構造の変革と産業ポートフォリオの変革による収益性の更なる改善
- 安定配当を基本としつつ増出利益の再配分を検討

2) 今後の予定

当社は企業価値向上を目指した中長期計画「Quest Vision2030」を2020年に始動させ、第1期・中期計画(2021-23年度)は概ね計画通りに進捗している

今後も、中長期計画「Quest Vision2030」を継続し、今回の現状分析を踏まえた「計画策定・開示」について、第2期・中期経営計画(2024-26年度)の発表(2024年5月予定)と合わせて公表し、施策を強力に推進する



- 本資料は、当社の業績及び事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更される場合があります。
- 本資料利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。



Digital Future As One

共にひとつになってデジタルの未来を。